申告書の各項目の説明及び申告書の書き方

●収入・所得金額…前年中に得た収入等について該当する項目に記入してください

ア及び①またはイ及び② 事業 卸売業、小売業、サービス業等の営業や、大工、保険の外交員、農作物の生産、畜産等	「1 収入金額等」及び「2 所得金額」に金額を記入してください。 申告書裏面の「13 事業（営業等・農業）・不動産に関する事項」の欄に内訳を記入してください。
ウ及び③ 不動産 貸家、貸地、貸アパート等	
エ 利子 国外の銀行等の預金の利子など	一般的に利子所得は源泉分離課税なので、申告は不要です。 ただし、国外の銀行等の預金の利子等、源泉徴収されないものは申告が必要です。
オ及び⑤ 配当 株式、出資金の配当、投資信託の収益の分配など	収入をオに、収入から必要経費（株式等の元本取得のために要した負債の利子）を引いた金額を⑤に記入し、申告書裏面の「7 配当所得に関する事項」の欄に内訳を記入してください。 ※特定配当等の所得については、配当金受取時に住民税分（5%）が徴収されておりますので、原則申告は不要です。なお、この所得について申告する場合は、申告書裏面の「11 配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除に関する事項」の欄に住民税分（5%）を記入してください。 （注意） 上場株式等に係る配当所得について申告した場合、この所得についても配偶者控除や扶養控除等の判定の基になる合計所得に算入されます。この合計所得金額は、市民税・県民税の非課税判定に用いられるほか、国民健康保険税や介護保険料等の算定にも用いられます。また、一度申告したものについては、取り下げることができません。 ※所得税の確定申告をした特定配当等の所得について、所得税と異なる課税方式を選択する場合は、以下の手順により申告してください。また、申告は住民税の納税通知書が届く前までに行ってください。 ①住民税では計上しない特定配当等の所得以外の所得及び控除について確定申告に準じて記入する。 ②◆簡易申告◆E にチェックをする。 ③申告書に確定申告書の控えの写しを添付する。
カ 給与 給与、賃金、賞与	源泉徴収票の支払金額をカに記入してください。 ◇源泉徴収票を添付してください。※源泉徴収票が複数ある場合は合計額を記入してください。 源泉徴収票がない場合は、給与明細書を参照し申告書裏面の「6 給与所得の内訳」及び「勤務先」欄に記入してください。 専従者給与がある人は、「うち専従者給与」の欄に収入金額を記入し、専従者給与支払者名等を申告書裏面の「6 給与所得の内訳」欄内の「勤務先」に記入してください。 ※850 万円以上の給与収入がある人で、所得金額調整控除（P4 参照）に該当する人は、申告書裏面の所得金額調整控除に必要な事項を記入してください。
キ 雑所得（公的年金等） 国民年金、厚生年金、企業年金など	源泉徴収票の支払金額をキの欄に記入してください。 ◇源泉徴収票を添付してください。※源泉徴収票が複数ある場合は合計額を記入してください。
ク及び⑧ 雑所得（業務） 原稿料、講演料など	原稿料、講演料又はネットオークションなどを利用した個人取引若しくは食料品の配達など副収入金額をクに記入してください。 ◇支払証明等を添付してください。 収入から必要経費を差し引いた所得金額を⑧に記入してください。申告書裏面の「9 雑所得（公的年金等以外）に関する事項」の欄に内訳を記入してください。
ケ及び⑨ 雑所得（その他） 個人年金など	生命保険の年金（個人年金保険）、互助年金、暗号資産取引などの収入金額をケに記入してください。 ◇支払証明等を添付してください。 収入から必要経費を差し引いた所得金額を⑨に記入してください。 申告書裏面の「8 雑所得（公的年金等以外）に関する事項」の欄に内訳を記入してください。
コ及び⑩またはサ及び⑪ 総合譲渡 骨董品、車両等 シ及び⑪ 一時 生命保険契約に基づく一時金など	申告書裏面の「9 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項」の欄に内訳を記入し、所得金額イの金額を申告書表面のコに、所得金額ロの金額を申告書表面のサに、所得金額ハの金額を申告書表面のシに、ニの金額を申告書表面の⑩に記入してください。 ※特別控除は、譲渡所得が短期と長期を合わせて原則 50 万円、一時所得が原則 50 万円です。 ◇支払証明書等を添付してください。

●所得控除…要件を満たす場合、該当する項目に記入してください

13 社会保険料控除 …あなたや生計を一にする親族等の国民健康保険税、国民年金保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料等をあなたが支払った場合	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>13</td> <td>合計額</td> <td>152</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社会保険料控除</td> <td>国民健康保険 国民年金</td> <td>介護保険 源泉徴収税額</td> <td>15,600 13,000</td> <td>150,000 円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> </table>	13	合計額	152	1	7	8	6	0	0	社会保険料控除	国民健康保険 国民年金	介護保険 源泉徴収税額	15,600 13,000	150,000 円	円	円	円	円
13	合計額	152	1	7	8	6	0	0											
社会保険料控除	国民健康保険 国民年金	介護保険 源泉徴収税額	15,600 13,000	150,000 円	円	円	円	円											
14 小規模企業共済等掛金控除 …確定拠出年金法による個人型年金加入者掛金等をあなたが支払った場合	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>14</td> <td>合計額</td> <td>157</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>生命保険料控除</td> <td>新生命保険料支払額 旧生命保険料支払額 新個人年金保険料支払額 旧個人年金保険料支払額 介護医療保険料支払額</td> <td>157 161 158 162 156</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	14	合計額	157	1	2	2	3	2	1	生命保険料控除	新生命保険料支払額 旧生命保険料支払額 新個人年金保険料支払額 旧個人年金保険料支払額 介護医療保険料支払額	157 161 158 162 156	4	2	3	5	0	0
14	合計額	157	1	2	2	3	2	1											
生命保険料控除	新生命保険料支払額 旧生命保険料支払額 新個人年金保険料支払額 旧個人年金保険料支払額 介護医療保険料支払額	157 161 158 162 156	4	2	3	5	0	0											
16 地震保険料控除 …地震保険料、旧長期損害保険料（平成 18 年 12 月 31 日までに契約したもの）をあなたが支払った場合	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>16</td> <td>合計額</td> <td>151</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療費控除</td> <td>支払った医療費等 保険などで補填される金額</td> <td>150 151</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	16	合計額	151	2	1	0	0	0	0	医療費控除	支払った医療費等 保険などで補填される金額	150 151	3	4	0	0	0	0
16	合計額	151	2	1	0	0	0	0											
医療費控除	支払った医療費等 保険などで補填される金額	150 151	3	4	0	0	0	0											
17～18 寡婦、ひとり親控除 …寡婦、ひとり親である場合	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>17～18</td> <td>寡婦、ひとり親控除</td> <td>☒ 寡婦 ☒ ひとり親 ☐ 死別 ☐ 生死不明 ☐ 離婚 ☐ 未婚遺</td> </tr> </table>	17～18	寡婦、ひとり親控除	☒ 寡婦 ☒ ひとり親 ☐ 死別 ☐ 生死不明 ☐ 離婚 ☐ 未婚遺															
17～18	寡婦、ひとり親控除	☒ 寡婦 ☒ ひとり親 ☐ 死別 ☐ 生死不明 ☐ 離婚 ☐ 未婚遺																	
19 勤労学生控除 …前年の合計所得が 75 万円以下で、かつ自己の勤労に基づかない所得が 10 万円以下の勤労学生（12 月 31 日時点）である場合	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>19</td> <td>勤労学生控除</td> <td>学校名・学年</td> <td>〇〇大学 1 年</td> </tr> </table>	19	勤労学生控除	学校名・学年	〇〇大学 1 年														
19	勤労学生控除	学校名・学年	〇〇大学 1 年																

20 障害者控除（本人）…前年の 12 月 31 日時点で、障害者手帳、戦傷病者手帳を持っている場合など

「20 申告者本人が障がい者の場合は、記入してください。」の欄に特別障害の人は右の欄（特）に、特別障害以外の障害の人は左の欄（障）に○を記入し、障害の程度の欄には持っている障害者手帳等の種類及び級を記入してください。 （注 1） ◇障害者手帳の写しなどを添付してください。 【障害者控除の対象の例】	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>20</td> <td>申告者本人が障がい者の場合は、記入してください。</td> <td>障</td> <td>○</td> <td>障害の程度</td> <td>④・精・療</td> <td>2 級</td> </tr> </table> <p>※本人以外の障害者控除は、配偶者控除・扶養控除等の欄に記入してください。</p>	20	申告者本人が障がい者の場合は、記入してください。	障	○	障害の程度	④・精・療	2 級
20	申告者本人が障がい者の場合は、記入してください。	障	○	障害の程度	④・精・療	2 級		
区分	障害の程度							
障害	障害者手帳等をお持ちで、下記「特別障害」に該当しない人							
特別障害	・身体障害者手帳 1・2 級 ・精神障害者保健福祉手帳 1 級	・戦傷病者手帳 特別項症～第 3 項症 ・療育手帳 A						

21 配偶者控除…あなたの前年の合計所得金額が 1,000 万円以下であなたと生計を一にする配偶者の前年の合計所得金額が 48 万円（給与収入で 103 万円）以下の場合（注 2）

「21 配偶者（特別）控除同一生計配偶者」の欄に必要な事項を記入してください。 ※配偶者が障がい者である場合、障害の程度も併せて記入してください。（注 1） ※婚姻や障害の状況等については、前年の 12 月 31 日の現況によって判断します。（年の途中で死亡した場合は、その死亡の日）	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>21</td> <td>配偶者（特別）控除同一生計配偶者</td> <td>配偶者の合計所得金額</td> <td>173</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>春日 花子</td> <td>生年月日</td> <td>S36・1・11</td> <td>☒ 同居 ☐ 別居</td> <td>身・精・療</td> <td>級</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>個人番号</td> <td>9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>	21	配偶者（特別）控除同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額	173	5	0	0	0	0	0	氏名	春日 花子	生年月日	S36・1・11	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級				個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8								
21	配偶者（特別）控除同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額	173	5	0	0	0	0	0																						
氏名	春日 花子	生年月日	S36・1・11	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級																									
個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8																														

21 配偶者特別控除…あなたの前年の合計所得金額が 1,000 万円以下で生計を一にする配偶者の前年の合計所得金額が 48 万円を超え、133 万円以下の場合

「21 配偶者（特別）控除同一生計配偶者」の欄に必要な事項を記入してください。 ※配偶者控除と配偶者特別控除の両方を取ることはできません。 ※配偶者特別控除の場合は、扶養の人数には含まれません。よって、住民税の非課税判定の人数に含まれないほか、配偶者が障がい者であっても障害者控除の対象にはなりません。	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>21</td> <td>配偶者（特別）控除同一生計配偶者</td> <td>配偶者の合計所得金額</td> <td>173</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>春日 花子</td> <td>生年月日</td> <td>S36・1・11</td> <td>☒ 同居 ☐ 別居</td> <td>身・精・療</td> <td>級</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>個人番号</td> <td>9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>	21	配偶者（特別）控除同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額	173	5	0	0	0	0	0	氏名	春日 花子	生年月日	S36・1・11	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級				個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8								
21	配偶者（特別）控除同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額	173	5	0	0	0	0	0																						
氏名	春日 花子	生年月日	S36・1・11	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級																									
個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8																														

21 同一生計配偶者…あなたの前年の合計所得金額が 1,000 万円超であなたと生計を一にする配偶者の前年の合計所得金額が 48 万円（給与収入で 103 万円）以下の場合（注 2）

「21 配偶者（特別）控除同一生計配偶者」の欄に必要な事項を記入してください。 ※同一生計配偶者の場合は、配偶者控除及び配偶者特別控除の適用はありませんが、「同一生計配偶者」として扶養の人数に含まれます。よって、配偶者が障がい者の場合は、障害者控除の対象となります。	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>21</td> <td>配偶者（特別）控除同一生計配偶者</td> <td>配偶者の合計所得金額</td> <td>173</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>春日 花子</td> <td>生年月日</td> <td>S36・1・11</td> <td>☒ 同居 ☐ 別居</td> <td>身・精・療</td> <td>級</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>個人番号</td> <td>9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>	21	配偶者（特別）控除同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額	173							氏名	春日 花子	生年月日	S36・1・11	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級				個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8								
21	配偶者（特別）控除同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額	173																												
氏名	春日 花子	生年月日	S36・1・11	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級																									
個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8																														

22 扶養控除…あなたと生計を一にする扶養親族の前年の合計所得金額が 48 万円（給与収入で 103 万円）以下の場合（注 2）

「22 扶養控除」の欄に必要な事項を記入してください。 ※扶養親族が障がい者である場合、障害の程度も併せて記入してください。（注 1） ※別居の親族がいる場合は、申告書裏面「10 別居の扶養親族等に関する事項」にも記入してください。なお、別居や扶養、障害の状況等については、前年の 12 月 31 日の状況によって判断します。（年の途中で死亡した場合は、その死亡の日）	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>春日 ハルエ</td> <td>生年月日</td> <td>S16・11・1</td> <td>続柄</td> <td>母</td> <td>同居</td> <td>☒ 同居 ☐ 別居</td> <td>④・精・療</td> <td>3 級</td> </tr> <tr> <td>1 個人番号</td> <td>2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>2 氏名</td> <td>春日 次郎</td> <td>生年月日</td> <td>H30・2・1</td> <td>続柄</td> <td>孫</td> <td>同居</td> <td>☒ 同居 ☐ 別居</td> <td>身・精・療</td> <td>級</td> </tr> <tr> <td>2 個人番号</td> <td>3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>3 氏名</td> <td></td> <td>生年月日</td> <td></td> <td>続柄</td> <td></td> <td>同居</td> <td>☐ 同居 ☐ 別居</td> <td>身・精・療</td> <td>級</td> </tr> <tr> <td>3 個人番号</td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>4 氏名</td> <td></td> <td>生年月日</td> <td></td> <td>続柄</td> <td></td> <td>同居</td> <td>☐ 同居 ☐ 別居</td> <td>身・精・療</td> <td>級</td> </tr> <tr> <td>4 個人番号</td> <td></td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>	氏名	春日 ハルエ	生年月日	S16・11・1	続柄	母	同居	☒ 同居 ☐ 別居	④・精・療	3 級	1 個人番号	2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3									2 氏名	春日 次郎	生年月日	H30・2・1	続柄	孫	同居	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級	2 個人番号	3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5									3 氏名		生年月日		続柄		同居	☐ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級	3 個人番号										4 氏名		生年月日		続柄		同居	☐ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級	4 個人番号									
氏名	春日 ハルエ	生年月日	S16・11・1	続柄	母	同居	☒ 同居 ☐ 別居	④・精・療	3 級																																																																								
1 個人番号	2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3																																																																																
2 氏名	春日 次郎	生年月日	H30・2・1	続柄	孫	同居	☒ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級																																																																								
2 個人番号	3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5																																																																																
3 氏名		生年月日		続柄		同居	☐ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級																																																																								
3 個人番号																																																																																	
4 氏名		生年月日		続柄		同居	☐ 同居 ☐ 別居	身・精・療	級																																																																								
4 個人番号																																																																																	

25 雑損控除…災害や盗難などにより、あなたや生計を一にする親族等の所有する資産に損失が生じた場合

「25 雑損控除」の欄に必要な事項を記入してください。 ◇災害や盗難にあったことを証明する証明書、損害金額の明細書などを添付してください。 ※証明等の添付がない場合は控除の適用ができません。	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>25</td> <td>雑損控除</td> <td>被災した資産の種類</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>春日 ハルエ</td> <td>生年月日</td> <td>S16・11・1</td> <td>続柄</td> <td>母</td> <td>同居</td> <td>☒ 同居 ☐ 別居</td> <td>④・精・療</td> <td>3 級</td> </tr> </table>	25	雑損控除	被災した資産の種類	150	3	4	0	0	0	0	氏名	春日 ハルエ	生年月日	S16・11・1	続柄	母	同居	☒ 同居 ☐ 別居	④・精・療	3 級
25	雑損控除	被災した資産の種類	150	3	4	0	0	0	0												
氏名	春日 ハルエ	生年月日	S16・11・1	続柄	母	同居	☒ 同居 ☐ 別居	④・精・療	3 級												

26 医療費控除…あなたや生計を一にする親族等の病気やけがの治療に直接必要な医療費をあなたが支払った場合

「26 医療費控除」の欄に必要な事項を記入してください。※別紙「医療費控除を受けられる方へ」を参照してください。 ◇医療費控除の明細書等を添付してください。 ※明細書等の添付がない場合は、控除の適用ができません。 ※領収書を添付しても、控除の適用はできません。	申告書の書き方（例） <table border="1"> <tr> <td>26</td> <td>医療費控除</td> <td>支払った医療費等 保険などで補填される金額</td> <td>150 151</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	26	医療費控除	支払った医療費等 保険などで補填される金額	150 151	3	4	0	0	0	0
26	医療費控除	支払った医療費等 保険などで補填される金額	150 151	3	4	0	0	0	0		

（注 1） 障害者手帳を持っていない人で、精神又は身体に障害があり、日常生活に支障が生じている 65 歳以上の人は、「障害者控除対象者認定書」の提出により、控除が可能です。「障害者控除対象者認定書」の発行については、高齢課までお問い合わせください。
（注 2） 被扶養者が国外にいる場合は送金関係書類及び親族関係書類が必要となります。

申告書の提出方法

- 郵送で提出する場合
申告書に必要な事項を記入し、源泉徴収票や控除証明書などの必要書類を申告書に添付し提出する。
※申告の控えが必要な場合は、住所・氏名を記入し、切手を貼った返信用封筒を同封してください。
※申告者本人のマイナンバーカード（個人番号カード）の写し（両面）を同封してください。マイナンバーカードをお持ちでない人は、通知カード（又はマイナンバーの記載がある住民票等）と併せて、本人確認書類（運転免許証等）の写しを同封してください。
- 市役所に直接提出する場合
源泉徴収票や控除証明書などの必要書類を持って、申告会場（申告期間：令和 4 年 2 月 16 日から 3 月 15 日まで）にお越しください。申告期間外は、税務課窓口にお越しください。申告書は受付時に作成できますので、事前に記入する必要はありません。
【持ってくるもの】
・収入、控除に係る源泉徴収票や控除証明書などの申告に必要な書類
・申告者本人のマイナンバーカード
（※マイナンバーカードをお持ちでない人は、通知カード（又はマイナンバーの記載がある住民票等）と併せて、本人確認書類（運転免許証等）をお持ちください。）

【問い合わせ先】 ご不明点がある人は、税務課市民税担当までお問い合わせください。
春日市役所 092-584-1111（代表）